



クレア二〇周年記念行事を開催

(財)自治体国際化協会総務部企画課

「(財)自治体国際化協会設立二〇周年記念行事」を二〇〇八年七月二十五日(金)、ホテルポール麹町にて開催しました。当日は、自治体国際化協会各支部、地域国際化協会、総務省、外務省、文部科学省関係者、クレアOBなどを招待し、約二六〇人の参加がありました。また、駐日ニュージーランド大使よりニュージーランドと日本との二国間関係について、基調講演をしていただきました。

第一部の記念式典では、主催者を代表して、香山充弘理事長がいささつに立ち、この二〇周年を契機に、内外情勢の変化を踏まえた地域の国際化事業を積極的に展開していきたいと述べました。続いて、瀧野欣彌総務省事務次官、松永文夫外務省広報文化交流部部長代理、前川喜平文部科学省大臣官房審議官より、この二〇年間のクレアの歩みに対して、敬意を表すとともに、今後とも協力していきたいとの祝辞をいただきました。また、佐々木淳事務局長からは、二〇年を振り返り、JETプログラムをはじめ、国内や海外事務所においてクレアが実施してきた事業についての紹介がありま

した。

続いて、駐日ニュージーランド大使のイアン・ケネディ氏より、「日本とニュージーランド オールド・サムライとニュー・サムライ 信頼関係の上に築く両国の未来」と題した基調講演がありました。講演の冒頭、ニュージーランドと日本との関係を強化する

ために作成されたDVDを鑑賞し、両国の間にさまざまな共通点があることを確認しました。そして、大使になるとは夢にも思っていなかったという少年時代から、現代の外交官に求められる資質、そして、両国にとって互いにプラスとなる協力のあり方について、講演されました。



↑香山充弘理事長



↑駐日ニュージーランド大使イアン・ケネディ氏



↑講演風景

少年時代は、のどかなニュージーランドハミルトン市で過ごされた大使。遊びやスポーツを通して学んだ人間の本質や人間関係については、外交官として生きる自身の人生に、今も活かされているそうです。

一方、外交官に求められる資質について、一九三〇年代にハロルド・ニコルソンが著した「Portrait of a Diplomatist」に記されている外交官として持つべき七つの美德（誠実、正確、平静、バランスのとれた気性、忍耐、謙虚、忠誠）と、新渡戸稲造が挙げたサムライの持つべき八つの美德（義、勇、仁、礼、誠、名、忠、克）について、会場スクリーンに文字を掲示しながら説明されま

した。興味深いことに両者の美德は似通っていると指摘され、これらの美德がもたらすものが信頼であり、外交官にとって最も大切なものであるとまとめられました。そして、もちろんニコルソンの美德は交渉の基本であるとしながらも、めまぐるしく変化する現代においては、頭の回転の速さと戦略的・政治的な機敏さが重要であると指摘されました。

また、ニュージーランドにとって第三位の輸出相手国である日本との関係について、すべてのレベルで前進させたいと考えていることを強調されました。「経験を積んだオールドサムライ」である日本と、「新参者のニューサムライ」であるニュージーランドは、多くの似通った考え方と利害関係を共有しているとして、両国は「誠実」という共通の美德を大切にしており、そこから信頼が芽生えるのであり、アジア太平洋地域の変化を見据えた時、双方共にプラスとなる新しい協力の機会が生まれるのだと、締めくくられました。講演は日本語で行われ、会場から大きな拍手が送られました。

第二部のレセプションでは、イアン・ケネディ大使と高田勇地域国際化協会連絡協議会会長にあいさつを、岡崎浩巳総務省大臣官房総括審議官から乾杯のあいさつをいただきました。会場には、ニュージーランドにちなんでニュージーランドビールとウォッカも登場したほか、懐かしい再会をした方も多く、大いに盛り上がりを見せました。



↑記念誌「CLAIR20年のあゆみと将来への展望」



↑ニュージーランドビール